

6月定例会での勝川議員の一般質問(その2)

子どもの貧困対策

子どもの貧困実態調査の内容と実施方法は

◆勝川 子どもたちは今7人に1人が相対的貧困状態といわれている。掛川市が今年度初めて行う子どもの貧困実態調査は大変重要だと考えるが、調査の内容と実施方法は。

◇市長 小5・中2の児童・生徒とその保護者にアンケート調査を行う。世帯収入・食事・市の施策認知度など庁内委員会で検討し、9月に実施する。

「子どもの貧困対策条例」制定は

◆勝川 国は「子どもの貧困対策に関する大綱」を公表し、県は「ふじさんっこ応援プラン」を策定し数値目標も掲げている。掛川市が「子どもの貧困対策条例」を制定し、施策の充実に努める考えはないか。

◇市長 調査を行い条例制定が必要か検討する。

子どもの医療費や給食費の無料化は

◆勝川 全ての子どもたちに恩恵が行き渡る医療費の完全無料化や給食費の無料化は子どもの貧困対策にも大変有効と考える。こうした考えは。

◇市長 要保護・準要保護の家庭には全額補助しており、給食費無料化実施の予定はない。

子どもの医療費については

【3年前・他会派議員への回答】
◇市長 通院時の一部自己負担は、軽症の過剰受診を懸念する小笠医師会との調整のもとに導入されたものであり、保護者への医療機関の自己負担の意識啓発のため、小笠医師会と連携して、近隣の同程度の助成度あり、見直す必要はない。

【今回・勝川議員への回答】

◇市長 以前と比べて病院の数・医師の数等充実してきた。周辺でも御前崎は高校まで完全無料化、磐田市は中学まで完全無料化、菊川市は掛川市と同等の状況も考慮に入れて、周辺の状況も検討していく。無料化は検討していない。

市長が、子どもの医療費無料化について、前向きな回答をされました。



宝もの子どもたちにぜひ予算配分を!

周辺市町子どもの医療費比較一覧表

	湖西市	浜松市	磐田市	袋井市	森町	掛川市	菊川市	御前崎市 (→は2017年10月から)	焼津市
通院	未就学児	無料	500円/1回	無料	無料	500円/月4回まで	500円/月4回まで	500円/月4回まで→無料	無料
	小・中学生	無料	500円/1回	無料	500円/月4回まで	500円/月4回まで	500円/月4回まで	500円/月4回まで→無料	無料
	高校生	×	×	×	×	×	×	500円/月4回まで→無料	無料
入院	未就学児	無料	500円/1日	無料	無料	無料	無料	無料	無料
	小・中学生	無料	500円/1日	無料	無料	無料	無料	無料	無料
	高校生	×	×	×	×	×	×	無料	無料
入院費無料時の食事療養費	無料	自己負担	無料	自己負担	自己負担	自己負担	無料	自己負担→無料	無料

2017年6月時点での各市町HPより作成。各市町とも通院が月4回まで500円自己負担の場合5回目以降は無料となります。

議会報告会

◎8月26日(土)
場所：勝川事務所(塩町)
時間：13:30~
参加費：無料

どなたでも参加
いただけます

◎9月2日(土)
場所：たまり一な
第1研修室
時間：13:30~
参加費：無料

一女性対象に開催
女性ならどなたでも
参加いただけます

6月定例会・文教厚生委員会報告

補正予算・学校司書配置経費について



◆勝川 学校司書、司書教諭、ボランティア等で学校図書館を支えている。司書がない場合、担任と兼務の司書教諭がやらざるを得ない状況。教員の仕事を軽減する意味でも早急課題と考える。計画の前倒しの予定は。

◇学校教育課長 学校司書がいなければ、司書教諭が学校司書の仕事をやらざるを得ないので、手が回らないのが現状。前倒しについては、有資格者の方を学校司書に配置しているので、人材確保の観点から計画的に増やしていくのが一番良い。

◇教育長 他市にはない支援室司書を教育センターに配属して、各学校を回っている。学校司書は平成33年をめどに充実させたい。

◆勝川 非常勤の支援室司書が週1回入るということで、学校司書としての仕事が片づくのか。子育て日本一・教育日本一を掲げる掛川市で、1日1校、週3校という司書配置が満足できる目標値なのか?

◇学校教育課長 なかなか十分ではないと思うが、学校司書の配属で図書貸し出し数が増えている。平成33年度には学校司書が各学校2日~3日入るようになり今より充実した活動になると考えている。

◇副市長 交付税は複雑な制度で、自治体の負担により学校司書を配置している。静岡県でも全校配置している所がないこともないが、掛川市も地道に増やしここまで来ていることを理解してほしい。